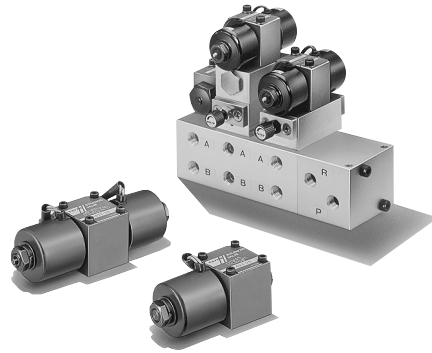


小形ソレノイドバルブ。

- 小形油圧ユニットはもちろん、一般産業用小形機械などに使用できます。
- ウエットソレノイドを採用しています。

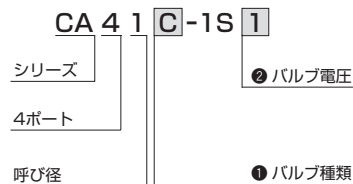


仕様(ウエットソレノイド形)

最高使用圧力	5MPa
最高切換頻度	500回/min
定格流量	2.5ℓ/min
定格電圧	AC100V50/60Hz・AC200V50/60Hz・AC220V60Hz・DC24V
許容電圧範囲	定格電圧±10%
起動電流	AC100V 0.12A
	AC200V 0.06A
	DC24V 0.5A
保持電流	AC100V 0.12A
	AC200V 0.06A
	DC24V 0.5A
消費電力	AC100V 50Hz : 11W 60Hz : 13W
	AC200V 50Hz : 11W 60Hz : 13W
	DC24V 12W
絶縁種別	E種
使用油温範囲	+15~+60℃
適合作動油	JIS K2213-2種(タービン油ISO VG32)相当品

- 定格時間：連続
- 定格電圧AC仕様は交直変換タイプです。

形式記号



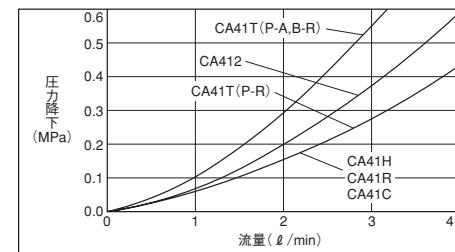
取付ボルトキットについては、HFC2シリーズを参照してください。

最大流量・質量

単位：ℓ/min

形式記号	名称	JIS記号	最大流量	質量kg
CA412-1S※	リターン形		4	0.3
CA41C-1S※	オールポートブロック形		4	0.4
CA41R-1S※	Pポートブロック形		4	0.4
CA41T-1S※	センタバイパス形		4	0.4
CA41H-1S※	オールポートオープン形		4	0.4

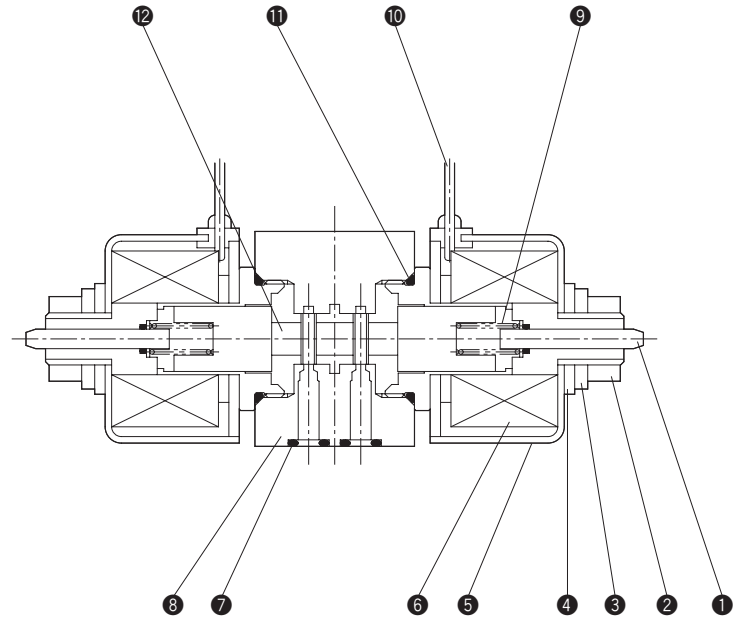
圧力降下特性図

粘度：32mm²/s

ご注文時には、下記の形式記号でご連絡ください。

記号説明

バルブ種類	
2	リターン形
C	オールポートブロック形
R	Pポートブロック形
T	センタバイパス形
H	オールポートオープン形
バルブ電圧	
1	AC100V 50/60Hz
2	AC200V 50/60Hz
8	DC24V



部品表

No.	名称	材質	数量
①	手動操作ピン	機械構造用炭素鋼	2
②	ナット	一般構造用圧延鋼	2
③	スプリングワッシャ	硬鋼	2
④	平ワッシャ	冷間圧延鋼	2
⑤	ケース	冷間圧延鋼	2
⑥	ソレノイド	—	2

注) 上記数量は、ダブルソレノイドの数量です。

No.	名称	材質	数量
⑦	Oリング(S-4)	ニトリルゴム	4
⑧	本体	機械構造用炭素鋼	1
⑨	スプリング	ピアノ線	2
⑩	リード線	—	2
⑪	Oリング(S-16)	ニトリルゴム	2
⑫	スプール	クロムモリブデン鋼	1

取付方法

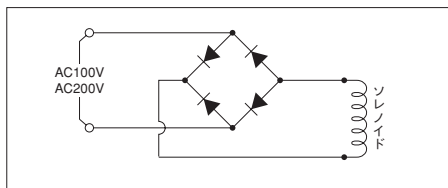
- マニホールドバルブは取付穴（φ5.5）を用いて固定してください。
- 風通しの良い場所に設置してください。
- 炉の付近など周辺温度が50℃以上になる場所に設置しないでください。
- 水、粉塵等のかからない場所に設置してください。
- 屋外では使用しないでください。
- バルブ本体をマニホールドブロックに取り付ける際は、締付トルク〔3～4N・m〕で取付けてください。

配管方法

- 配管材は使用条件に耐える物をお選びください。（ナイロンチューブ、ゴムホースなどの性能は使用条件により異なります。当社油圧ホース・ホース金具を推奨します。）
- 配管材は十分にフラッシングしてください。

配線方法

- 規定の電圧の電源を使用してください。
- CAソレノイドバルブのAC100、200V用は下図のような整流回路付きです。外部からのサージ電圧がかからないようにしてください。



運転

- 電気信号による作動の前に手動操作による作動を行ってください。CAソレノイドバルブは吸引ソレノイドを使用しております。励磁するソレノイドと反対側の手動操作ピンを押してください。
- 手動操作による作動で異常がない事を確認の上、正規の作動を行ってください。

注意

- 連続通電するとコイル温度が上昇します。コイルケース及びボディ表面は直接触れないようにしてください。
- CAソレノイドバルブをマニホールドブロックから取り外し、再取付する際はバルブの向きを間違わないようにしてください。

点検

- 使用初期の状態と比較し、以下の事を確認してください。
 - ・ 作動音
 - ・ 油漏れ

保管

- 長期保管が必要な場合、バルブ単品の場合は作動油を塗布しビニール袋に入れ空気を抜いて密封してください。
- マニホールドバルブの場合、作動油をマニホールド内に封入して全てのポートをプラグにて密封してください。
- 再使用する際は、封入した油を完全に抜き新油にて使用してください。

廃棄

- バルブ、マニホールドを分解し材料別に分別してください。
- 樹脂、ゴム系は、不燃物として廃棄してください。
- 廃油は法令に従って、廃棄してください。